

# 井の国歴史懇話会報

VOL17

発行：井の国歴史懇話会事務局 発行日 平成30年4月27日



## 大河ドラマ置き土産

武藤全裕

大河ドラマ「おんな城主 直虎」も好評のうちに終わり、龍潭寺は以前の静かな観光地に戻りました。時間のゆとりも出来、ドラマの場面を次々と懐かしく思い出しているこの頃です。



田中美央さんの奥山六左衛門、矢木悠馬さん演じた中野直之、大男の六左衛門、小柄な直之の名コンビでの場面が忘れられません。直虎のそばにあって、常に直虎を守っての活躍をしていました。

この奥山六左衛門の墓と中野直之の墓は、龍潭寺境内にある墓所で、現在も仲良く並んで建っています。ドラマにも連なる不思議なご縁です。

この二月の私の講話のテーマは、「中野氏調査」でした。中野氏は井伊谷で発祥した一番新しい親族です。二十代直平の父直氏の弟直房が中野家の祖で、四代目が直之です。五代目三孝は井伊直政と義兄弟です。彦根で亡くなっておりますが井伊谷に庵(寺)を建てます。おそらく遺言でしょう。戒名を「興禅院殿透岳浄徹居士」と申します。

井伊谷の古地図を見ますと中野屋敷があり、その中に興禅庵の絵も残されております。その地図に「墓有」とあり現在もその墓地が残っています。院号の「興」の部分の墓石が埋もれたままになっています。大切な中野氏の史跡です。遺産センターの協力を得て史跡の保存を考えています。ドラマによって発見された置き土産です。



## 井伊直虎講演会

「直虎のこれからを語る」

当地は、NHKの大河ドラマ「おんな城主直虎」が終わって既に4か月が過ぎたにも関わらず、未だ余韻冷めやらない雰囲気にあります。そんな思いを受けて講演会を4月7日に実施しました。

第1部は時代小説家梓澤要氏から「女にこそあれ次郎法師」執筆のきっかけとなった「井伊家伝記」との出会いのいきさつや地元引佐の人々の協力の為せるものに他ならないことをお聞きました。このドラマが長い間を掛けて、地元で育ってきたからこそ、未永く地域に根差していくに違いないという手応えを感じました。

## 対談 直虎のこれからを語る

第2部は 龍潭寺住職武藤宗甫氏、版画家熊谷光夫氏、梓澤要氏の対談が行われました。

司会 今回のドラマの放送を契機として、新たな史料が幾つか発見されました。その中で、龍潭寺の世継ぎ観音のお厨子の銘文についてお話しいただけないでしょうか。

武藤 今まで判読できなかったのですが、展覧会出品を契機して、銘文が出て参りました。本当にびっくりしました。「井伊氏代継観音」とあり、天正3年に大藤寺建立にあたり奉納されました。「井伊次郎法師」とあるのも貴重ですね。

←世継観音

**司会** 熊谷さんの描かれた直虎のイラストは本やグッズにたくさん使われました。このことについてお話しただけでないでしょうか。

**熊谷** 私の描いたイラストは随分いろいろなところでお使いいただきました。直虎さんの為ならと思って、すべて無料でお使いいただきました。版權を主張していたらずいぶんと財を成していたでしょうね。(笑)このイラストを描いたのは若い青年と期待していた？と思います



が、実はこんなお年寄りだったんですよ。がっかりされた方も多かったでしょうね(笑)

**司会** 「井伊家伝記」の史料的な役割が問われていますが、井伊家伝記がなければ小説もドラマも成立しなかったと思います。文学性の高い作品としても大変な価値があると思います。

**武藤** 直虎が亡くなって150年後に時の龍潭寺住職祖山法忍が史料や伝承を集めて書かれたものです。祖山和尚は大変学識のある方で、大変丁寧な調査をして書かれたものです。彦根本や大藤寺本等何冊かありますが、原本は龍潭寺本です。



↑井伊家伝記

**梓澤** 私も井伊家伝記との出会いがあったからこそです。今後、じっくりと読み解いていく必要があると思います。

**司会** 直虎のこれからは如何でしょうか。

**武藤** 最近新しい史料が見つかりました。地元井伊谷の神主中井家の文書が関東で見つかり、国士舘大学の夏目先生が今調査をしております。きっと新しい事象が見つかり、興味深い話題を皆様にご提供できることと思います。

中井家文書→



**司会** このドラマでは華々しい戦闘場面だけでなく、中世の農村社会を余すところなく描き出していました。領主の専制に屈するだけでなく、農村の自治を勝ち取っていく場面や平和を願って国を守り通した直虎のメッセージはこの浜松からいつまでも発信されていくに違いありません。そうした祈りは井伊氏の興したひよんどりやおくないとして歳の始めに奉納されているのです。

### 30年度の予定 (敬称略)

4月27日(金) 13:30~

総会

講話 「(仮)井伊直政の姉高瀬姫と彦根」  
武藤全裕 富田伸浩

6月12日(火)

・現地研修 「龍潭寺閑栖和尚と巡る旅」  
(仮)~直虎の足跡を彦根に訪ねる~  
集合 龍潭寺駐車場  
詳細は後日連絡します。

9月28日(金)

・講話「映画の舞台になった引佐」  
~松竹映画「涙」を中心にして~  
元木下恵介記念館初代館長 鈴木康之

2月 日時未定

・講話「中井家文書から見た井伊家」  
夏目琢史

### 夏目琢史

2016年引佐町の東光院で井伊直虎の寄進に関する史料を発見。2017年のNHK大河ドラマ『おんな城主 直虎』では資料提供者として制作に携わった。

### 著書

- ・「近世の地方寺院と地域社会: 遠州井伊谷龍潭寺を中心に」(同成社、2015年)
- ・「文明・自然・アジュール 女領主井伊直虎と遠江の歴史」(同成社、2016年)
- ・「井伊直虎 女領主・山の民・悪党」(講談社現代新書、2016年)